

# れふぁれんす

2015. 10. 27  
佐沼高校 図書館発行  
文責・学校司書 二ノ神

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字末広 1

(「れふぁれんす」とは調べたい事柄がわかる資料を提示したり本探しのお手伝いをしたりする図書館サービスです)

## 読書の秋です!!

暑かった夏も過ぎ、さわやかな秋の空気に包まれるようになりました。「芸術の秋」「スポーツの秋」「食欲の秋」・・・そして「**読書の秋**」です。

### 「読書週間」マークの由来

その昔、ギリシャ神話の世界で「ふくろう」は、学問・技芸・知恵を司る美貌の女神アテナの使者であり、また、代表的なボリスで文化の中心地アテナイ(アテネ)の聖鳥でもありました。

古代のギリシャ人たちは、賢そうな丸い目に大きなメガネをかけた、すまし顔の「ふくろう」を知恵の象徴として大切にしていたといえます。

森の奥深く、静かに瞑想にふけるこの「ふくろう」の姿こそ、読書週間のシンボルマークとしてもっともふさわしいものと考え、読進協では長い間使用してきました。

(参考：社団法人読書推進運動協議会)

今日から秋の読書週間が始まりました。これからの秋の夜長、じっくりと本に向き合うのにもいい季節ですよ。1、2学年では朝の読書が、そして29日は2学年でLHR読書会があります。普段、自分では手にとらないようなテキストでも、クラスのみんなが同じ本を読んで、感想を述べ合い、互いの意見を交換してそれぞれの考えを理解し合うのはとても意義のあることです。何よりも自分の意見を相手に伝えたり、相手の意見をきちんと聞いたりという行為そのものが貴重な経験になります。

それぞれ良い話し合いが展開される事を祈ります。

## 図書委員読書会報告

### 「夏の階段」(梨屋アリエ 著)

(あらすじ)

「たくさん勉強して、早く進学して大人になりたい。」家庭も友人も、思うようにならない現実に、人を遠ざけ、周囲と距離を置く玉木崇音。彼が、夏期講習の帰り道で出会ったのは、奇妙な階段とクラスメイトの遠藤珠生。何かとからんでくる遠藤がわずらわしい玉木だったが…。

不器用な恋と友情、未来への葛藤。そんな息苦しい毎日の向こうに見えてくるものとは…。



10月15日(木)の7校時目に実施しました。3年生図書委員が抜けて、1,2年生だけの初めての行事です。2年生の企画係を中心に、和やかな雰囲気話し合いが進みました。

すれ違う感情の物語が、最後に爽やかに結ばれる、短編小説の楽しみを味わうことができました。

# もうすぐ2学年読書会です！

10/29(木)7校時

読んだ本の感想をお互いに話し合うというのは普段はあまりないことかもしれません。あなたのグループではどんな意見が出るでしょう？図書委員が選ぶ、関連図書も展示。さらに本の世界に触れてください。

## 〈テキスト紹介〉

『スローカーブを、もう一球』 山際淳司著(2の1)

特別、注目されていたわけではない高崎高野球部がなぜか甲子園へ。”熱血高校野球”とはひと味違う戦いを描くノンフィクション。

『マジック・アワー』 関口尚 著 (2の2)

僕は2年続けてマラソン大会の1位を黒崎に奪われている。しかも、黒崎の彼女は僕がふられた筒見だ。

『さがしもの』 角田光代 著 (2の3)

死にゆく祖母から頼まれたさがしものは、一冊の本。どの本屋でも見つけれないまま時はすぎ・・・。

『最後の一枚』 O・ヘンリー 著 (2の4)

最後の一枚が落ちたら死んでしまうと思いついでいる少女と、うらぶれた老画家の交流を描いた感動の小品。

『ぼくは勉強ができない』 山田詠美 著 (2の5)

ぼくは確かに成績が悪いよ。でも、勉強よりも素敵で大切なことがいっぱいあると思うんだ。

『とかけ』 吉本ばなな 著 (2の6)

私の衝動的なプロポーズに対して、長い沈黙の後とかけは言った。「秘密があるの」。



## 新着図書



書名	著者名
そのまま豆本 はじめての手製本編	赤井都
あなただけの巻物・折り本づくり 新装版	藪田夏秋
天声人語 英文対照 vol.181 2015 夏	朝日新聞論説委員室
?(疑問符)が!(感嘆符)に変わるとき	小国綾子
「佐高新聞」縮刷版	宮城県佐沼高等学校
佐沼高校百年史	宮城県佐沼高等学校
「昭和天皇実録」にみる開戦と終戦 岩波ブックレット	半藤一利
万次郎 地球を初めてめぐった日本人	岡崎ひでたか
山本美香という生き方 新潮文庫	山本美香
「テロに屈するな！」に屈するな 岩波ブックレット	森達也
和解は可能か 岩波ブックレット	内田雅敏
地方消滅の罨 「増田レポート」と人口減少社会の正体 ちくま新書	山下祐介
女性活躍後進国ニッポン 岩波ブックレット	山田昌弘
不可能を可能に 点字の世界を駆けぬける 岩波新書	田中徹二
思春期の育ちなおし	金子由美子
だれが墓を守るのか 多死・人口減少社会の中で 岩波ブックレット	小谷みどり
空想科学「理科」読本	柳田理科雄
空想科学読本 16	柳田理科雄
日本列島人の歴史 岩波ジュニア新書	斎藤成也
君がここにいるということ 小児科医と子どもたちの18の物語	緒方高司

書名	著者名
B型肝炎 なぜここまで拡がったのか 岩波ブックレット	奥泉尚洋
不眠とうつ病 岩波新書	清水徹男
「水素社会」はなぜ問題か究極のエネルギーの現実 岩波ブックレット	小澤祥司
これだけ！燃料電池	坂本一郎
燃料電池という選択	永田裕二
ミネラルウォーター・ガイドブック	早川光
かぎ針で作る恐竜のあみぐるみ	おのゆうこ
100万回生きたねこ	佐野洋子
空想法律読本 [12月24日住居侵入事件]編	盛田栄一

## 後期図書委員会の役員です

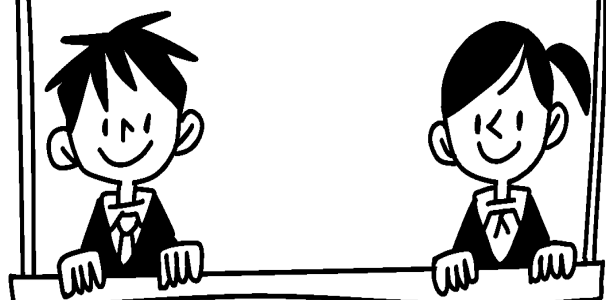
委員長 伊藤大成(2-4)

副委員長 遠藤孝敏(2-1)

浅野雄斗(1-1)

書記 赤田星成(2-6)

佐藤航太郎(1-1)



# 今年も「朝の読書」が始まりました

10月27日(火)～11月9日(月)

秋の読書週間(10/27～11/9)にあわせて、朝の小テストの時間に読書を行います。中学校までに、「朝の読書」を経験している人は多いと思います。でも、高校生になると忙しくて、なかなか読書の時間がとれない人も多いのでは？ そんなあなたは特に、読書に親しむひとときを味わってくださいね。

原則として**8時15分から25分までの10分間**で行います。初日に**図書委員が「記録簿」を配ります**。そして終了日には**図書委員が回収します**ので、**いちど図書館へ提出**してください。みなさんの感想を集約し来年以降の企画の参考とさせていただきます。そのあと、記録簿はお返ししますので、自分が本を読む速さや、読書傾向の把握などに活用して下さい。

読む本が決まらない方は、図書館でおすすめ本を準備しましたので、いつでもご相談ください。

\*期間中は図書部の先生が巡回して記録のための写真を撮影します。

## ○ 朝の読書 おすすめブックガイド ○

10分間に5ページ読む人は、この9日間で45ページ読めることになります。短編小説なら1つ、ブックレットなら1冊は読めそうです。こんな本はいかがですか？

### ☆ 短い時間に読み切れる本をお探しのあなたに

『みじかい眠りにつく前に 1 真夜中に読みたい10の話』金原瑞人 編 913.8カ1(226p)

『望遠ニッポン見聞録』ヤマザキマリ 著 914.6ヤ(228p)

『とっさの方言 ポプラ文庫』小路幸也 大崎善生 著 818シ(373p)

『ことばの歳時記』金田一春彦 著 810キ(415p)

『やなせたかし明日をひらく言葉』やなせたかし 著 726ヤ(189p)

『怖い絵』中野京子 著 723ナ(264p)

『自転車に冷たい国、ニッポン 安心して走れる街へ 岩波ブックレット』馬場直子 著 685バ(63p)

『知ろうとすること。』早野龍五 糸井重里 著 543ハ(183p)

『ルポ チェルノブイリ 28年目の子どもたち 岩波ブックレット』白石草 著 543シ(79p)

『買ってはいけない食品』渡辺雄二著 498ワ(253p)

『美容整形 「美しさ」から「変身」へ』山下柚実 著 494ヤ(308p)

『もの食う人々』辺見庸 著 383ハ(365p)

『信用金庫の力 人をつなぐ、地域を守る 岩波ブックレット』吉原毅 著 338ヨ(71p)

『「テロに屈するな！」に屈するな 岩波ブックレット』森達也 著 316モ(87p)

『誰も行けない温泉』大原利雄著 291オ(186p)

『第五福竜丸から「3.11」後へ 被爆者大石又七の旅路 岩波ブックレット』小沢節子 著 289オ(63p)

『くまのプーさん 小さなしあわせに気づく言葉』PHP研究所 編著 159ピ(123p)

『みんなの図書室』小川洋子 著 019オ(277p)

## 朝の読書 4原則

- ・みんなでやる
- ・毎日やる
- ・好きな本でよい
- ・ただ読むだけ



☆ なにごとも積み重ねが大切。小論文対策のためにコツコツ読書を楽しむ方へ

- 『医療の限界 新潮新書』小松秀樹 著 498 コ(220p)〈医療系〉
- 『ボランティアナースが綴る東日本大震災 ドキュメント』全国訪問ボランティアナースの会キャンパス編 369 キ(230p)〈医療系〉
- 『「いのち」とはなにか 生命科学への招待 講談社学術文庫』柳澤桂子著 460 ヤ(359p)〈医療系〉
- 『エネルギー進化論 ちくま新書』飯田哲也 著 501 イ(233p)〈理系〉
- 『ルリボシカミキリの青』福岡伸一 著 404 フ(238p)〈理系〉
- 『科学者が人間であること 岩波新書』中村桂子 著 401 ナ(243p)〈理系〉
- 『たったひとつの「真実」なんてない メディアは何を伝えているのか? ちくまブライマ-新書』森達也 著 361 モ(201p)〈人文系〉
- 『それでも、日本人は「戦争」を選んだ』加藤陽子 著 210.6 カ(414p)〈人文系〉
- 『これからの「正義」の話をしよう いまを生き延びるための哲学』マイケル・サンデル 著 311 サ(380p)〈人文系〉
- 『ポピュリズムへの反撃 現代民主主義の条件 別冊oneテーマ21』山口二郎 著 311 ヤ(211p)〈法学系〉
- 『9条どうでしょう ちくま文庫』内田樹 小田嶋隆ほか 著 323 ウ(236p)〈法学系〉
- 『デモクラシーの論じ方 論争の政治 ちくま新書』杉田敦 著 311 ス(190p)〈法学系〉
- 『若者が無縁化する 世・社・コミュニティでなく ちくま新書』宮本みち子 著 367 ミ(214p)〈社会学系〉
- 『希望難民ご一行様 ピースポートと「承認の共同体」幻想 光文社新書』古市憲寿 著 319 フ(306p)〈社会学系〉
- 『希望のつくり方 岩波新書』玄田有史 著 304 ゲ(226p)〈社会科系〉
- 『当事者主権 岩波新書』中西正司 上野千鶴子 著 369 ナ(214p)〈福祉系〉
- 『介護保険 地域格差を考える 岩波新書』中井清美 著 369 ナ(189p)〈福祉系〉
- 『「正しい戦争」は本当にあるのか』藤原帰一 著 319 フ(311p)〈国際関係〉
- 『ODA(政府開発援助) 日本に何ができるか 中公新書』渡辺利夫 著 333 ワ(205p)〈国際関係〉
- 『17歳のための世界と日本の見方 セイゴ先生の国際化講義』松岡正剛 著 361 マ(363p)〈国際関係〉
- 『「つなみ」の子どもたち 仮に書けなかった物語』森健 著 369 モ(286p)〈教育系〉
- 『「学び」から逃走する子どもたち 岩波ブックレット』佐藤学 著 370 サ(63p)〈教育系〉
- 『教育改革の幻想 ちくま新書』苅谷剛彦 著 372 カ(222p)〈教育系〉
- 『教育改革の幻想 ちくま新書』苅谷剛彦 著 372 カ(222p)〈教育系〉
- 『(株) 貧困大国アメリカ 岩波新書』堤未果 著 368 ツ 3(278p)〈経済系〉
- 『反貧困 「すべり台社会」からの脱出 岩波新書』湯浅誠 著 368 コ(224p)〈経済系〉
- 『農業がわかると、社会のしくみが見えてくる 高校生からの食と農の経済学入門』生源寺真一 著 661 シ(205p)〈経済系〉
- 『規制緩和という悪夢 文春文庫』内橋克人 著 601 ウ(192p)〈経済系〉
- 『文明の災禍 新潮新書』内山節 著 369 ウ(186p)〈学際系〉
- 『子どもの貧困 日本の不公平を考える 岩波新書』阿部彩 著 368 ア(249p)〈学際系〉
- 『プロメテウスの畏』朝日新聞特別報道部 著 543 ア(269p)〈学際系〉
- 『生きさせろ! 難民化する若者たち ちくま文庫』雨宮処凛 著 367 ア(333p)〈学際系〉
- 『少子社会日本 もうひとつの格差のゆくえ 岩波新書』山田昌弘著 334 ヤ(232p)〈学際系〉
- 『スポーツは「良い子」を育てるか 生活人新書』永井洋一 著 780 ナ(222p)〈スポーツ・美術系〉
- 『みんなのなやみ よりみちバリエーション 01』重松清 著 159 シ(196p)〈その他〉
- 『傷つきやすくなった世界で 睡眠のミステリー』石田衣良著 914.6 イ(243p)〈その他〉
- 『夜と霧』フランクル 著 946 フ(208p)〈その他〉
- 『学生時代にやらなくてもいい20のこと』朝井リョウ著 914.6 ア(223p)〈その他〉
- 『大学選びより100倍大切なこと』筒井美紀 著 377 ツ(191p)〈その他〉

